

平成 21 年度外国語学部卒業論文・卒業研究

英語学科

アメリカ研究

- 清板 智江 The Acceptance of Jazz in Japan: The Transitions in Japanese People's Recognition from the Taisho Era to the Occupational Period
- 小田有季奈 U.S. Women and New Family Formation: Vietnamese Children's Adoption in 1965-1975
- 久保田和紗 Food Insecurity in the Urban United States: From Too Little to Too Much
- 西村 恵子 Transnational Anime Fandom: Rthnographic Research on Fan and Otaku of Americans and Japanese
- 矢野 由依 The Enigma of Booker T. Washington: The Ultimate Dream of an Uncelecrated Race Leader
- 北村 圭 The Failure of the New Left Movement as Political Activsm
- 名取 雅航 The Hidden History of Neoconservatism
- 藤澤 和則 Rebellion Against the Justice of Environmental Policies

英国・英語圏研究

- 下川 舞子 Inverted Aesthetics of Jonathan Swift in Gulliver's Travels
- 平繁 佳織 Sanctuary for the Mind: Art as a Revitalizer of Life in a Portrait of the artist as a young man

英語研究

- 中島早夕佳 How to Teach English Pronunciation to Japanese Students
- 前田 早穂 Teaching Grammmaring to Junior High school in Japan
～ Focus on Form ～
- 松村奈々子 Output skill improvement in second language acquisition from psycholinguistic point of view
- 塩飽 りさ Teaching of Reading in the Japanese High school EFL Classroom

- 酒井奈菜子 Value of English knowledge: Perceptions of Parents, Children, and the Nation (保護者、子供、国家それぞれの英語教育の価値に関する概念)
- 長谷川絵美 How do tasks affect language learner's motivations? (タスクが言語学習者の動機づけに与える影響)
- 中川 紀子 ビジネス啓蒙書 “Good to Great” の Genre Relations による分析
- 太田 大輔 外国語学習法としてのシャドーイングに関する文献研究

米花美土里 日本の開発教育の現状と展望
—世界のあらゆる格差をなくすために—

ドイツ語学科

ドイツ語研究

- 近藤 千扇 ドイツと日本の環境対策における自治体と住民・NPO の「協働体制」の研究

フランス語学科

フランス語圏研究

- 中村 遥 教科書における「歴史」の編集
—フランス・アルジェリアを事例として—

イスパニア語学科

イスパニア語研究

- 鳥居由起子 スペイン語の間投詞について
—その定義によるサブカテゴリー化と位置付け—
- 河合 伴樹 3 人称代名詞弱勢形使用の地域差
- 大島 啓慈 Argentina, Chile における二人称待遇表現と動詞活用のバリエーション
- 野田 絵里 スペイン語における冠詞について
—英語との対照的観点から—

イスパニア語圏研究

- 松野万里子 フジモリ三選の基盤形成
—第一期政権の経済政策と治安対策—

—

- 小野寺華子 モードから見る「スペイン帝国」の王権と「宮廷社会」
三澤 妙 現代に悲劇を蘇らせた劇詩人ロルカ

ロシア語学科

ロシア語研究

- 丸山奈緒子 ミハイル・ブルガーコフの中編小説『運命の卵』と『犬
の心臓』の一体性について
—同時期に書かれた2作品の分析から—

ロシア・ユーラシア研究

- 青木 緑 「カティンの森事件」から見るポーランド・ロシア関係
秋田 有香 2002年のロシア連邦年金制度
伊藤 有里 国際関係における上海協力機構の軍事的役割
岩間 洋平 ロシア株式会社「統一エネルギーシステム」の電力改革
について
高橋 尚子 国連安全保障理事会「7章決議」に対するロシアの投票行動
—脅威認定・介入の拡大に対する拒否権行使—
青木 春佳 バーバ・ヤガーに見るロシア人のメンタリティー
今井 渚 レミーゾフの民族劇の手法—『マクシミリアン帝』を例に—
増子 貴子 ゴーゴリ、魯迅の同題作日『狂人日記』の比較
中川 実 チュコフスキーの童話作品におけるノンセンス
—ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』との比較を通して—
四宮 茉由 ロシアにおけるストリートチルドレン
—取り残された犠牲者たち—
久貝 隆介 ロシア森林関係法規と森林行政の変遷

ポルトガル語学科

ポルトガル語研究

青木 優子 ポルトガルの魂を歌う音楽ファド ―カモンイスからアマリアヘー

ポルトガル語圏研究

秋山 優 ブラジルにおける子どものメンタルヘルスと取り組み

岩崎 雄三 経済危機下のブラジル人コミュニティ

―浜松市を事例として―

榮鶴ゆかり ブラジルにとってアフリカとは ―エイズ外交を通して―

根本恵理子 ブラジル社会の変化とキリスト教会

斎藤 哲也 三カ国協力の可能性

―日本・ブラジルパートナーシップ・プログラムを事例にして―

佐藤総美南 ブラジル大豆産業発展の過程

鈴木 慶 ブラジル産業の新たなトライアングル

―資源＝鉄鋼＝自動車の発展を中心として―

山元 一洋 ブラジルにおける学校教育の民主化

言語

言語学研究

宮崎 秀太 Does Self-monitoring of EFL Pronunciation Work?

- A Case Study of 19 Japanese University Students

三浦 康平 ドイツ語における機能範疇の主要部パラメータに関する考察

寺岡みなと 翻訳表現に見られる訳者と読者のコミュニケーション

―『悲しみよ こんにちは』／“Bonjour Tristesse”の場合―

山澤 朋加 Relation between English ability and Returnees' National Identity Confusion

松本百合子 The Influence of Language Experience on Speech Perception

斎藤 智美 ドイツ語オノマトペにおける音象徴

西牧 綾 長野県方言の母音 / i / ・ / e / に関する音韻現象

国際関係

国際関係研究

- 越野 麻子 ガーナの民主化
- 丹羽 瑞枝 構成主義（コンストラクティヴィズム）と東西冷戦の緊張緩和—ヨーロッパ安全保障協力会議の検証—
- 松下奈緒子 The Eclipse of the Middle East Peace-Making Process after Oslo -The Effectiveness of Israel Lobby in the U.S.-
- 白石 恵理 日比経済連携協定に基づくフィリピン人看護師・介護士の受入れ—問題点とこの制度の今後—
- 細田ゆき乃 多民族国家スペインの国民統合への歩み
- 池田真奈美 ジェノサイド条約の光と陰
- 成沢 祐梨 紛争の種類と難民帰還問題
- 安原 幸子 フランス社会のムスリム—より良い共生を目指して—
- 池田沙耶佳 クール・ジャパンはいかにして作られるのか
- 20代・30代の在日外国人へのインタビューを通して—
- 飯田めぐみ 中国の対アフリカ資源外交—スーダンで揺れた中国の戦略—
- 小松みなみ ポルポト政権無惨な4年間が残したもの
- 三品 麻子 アジア発展における日本の役割—製造業輸出の可能性—
- 山田 朋子 Rethining Intervention for peace-keeping and peace-building
- 稲垣 奏 ナイジェリア政治と石油
- アフリカの天然資源を巡る争いの変容—
- 浜崎 一路 History and Human Rights Issues of Indigenous Peoples
- 白石 文恵 BOP ビジネスの経営戦略と方向性
- 阿部 怜奈 EUの東方拡大と安全保障政策
- 安齋 優美 被征服者から、移民者、そして市民へ —21世紀現在までのアメリカ・テキサス州におけるメキシコ系社会の変化—
- 陳 珊珊 EU 東方拡大と労働移動—ポーランド人移民を中心に—
- 柿沼 武文 中央アジア諸国の政治体制
- 黒崎加奈子 スイスにおける言語政策
- 宮入 唯 ドイツ社会における“Aussiedler”問題
- ロシア・ドイツ人を中心として—

多屋 昌美	グリーン・ツーリズム 一人と自然の真の豊かな社会を目指して―
高橋 杏奈	難民問題の恒久的解決：定着を通じた開発の可能性 ―コンゴ民主共和国の事例から―
田中 遥	アフガニスタンの部族主義と国家建設 ―対立構図と凝集力の検証―
谷津 綾乃	気候避難民のゆくえ
池田 未来	北方領土交渉の真実と日本政治の現在

国際関係副専攻

小澤 健	マレーシアとマケドニアの例から考えるマイノリティー の政治参画
田口 友貴	ビジネスは貧困者の抱える問題を解決できるか
水野 慎也	戦争、紛争及びテロリズムにおけるメディアの歴史と役割 ―多様なアクターの考察とボスニア紛争を事例として―

アジア文化

アジア文化研究

鈴木未奈巳	カンボジア特別法廷からみるカンボジアの平和 ―「司法」の果たす役割の重要性
中野 礼花	2005年ロンドン自爆テロとイギリス社会 ―なぜ彼らはテロリストになったのか
瀬川 藍子	フェアトレード―貧困削減のツール
中村 典	アンコール王朝と東北タイの製塩
杉山 文香	インドにおけるカースト制度の展望
田畑 千春	神奈川県におけるニューカマーの高校進学 ―大阪府のニューカマー進学支援を参考に
竹内 詠子	紛争下の東ティモールにおける女性の人権侵害

アジア文化副専攻（卒業研究）

本吉友里恵	文化遺産と共に人生を歩んで ―ニム・ソティーブンさん へのインタビューを通じ、アンコール遺跡を考える
-------	---

ヨーロッパ研究

- 小澤 智史 明治期の日本におけるビールの「日本化」への過程
—「Ale」と「Bier」の競争の中で—
- 蜂谷 大尚 戦後ドイツ復興に「ベルンの奇跡」が与えた影響
- 町田 直樹 神話と英雄：異文化理解における意義と役割
- 中村早百合 バイロイトを通して見る、ワーグナーとヒトラー
～ワーグナー一族とヒトラーについての考察～
- 岡野有美子 近代における女子教育の日独比較論
—女性の社会進出に差が出た背景とは—
- 吉岡 優子 ドイツ・ナショナリズムにおける森林

ラテンアメリカ研究

- 高山 亮 水と土地をめぐるマヤ人の言説
—ユカタン半島を中心に歴史を概観して—
- 名村 彩加 ボリビア型ナショナリズムの模索
—多民族国家に見るナショナリズム形成の歴史—
- 加藤 光世 住宅問題と政府・NGO・住民組織による社会住宅政策
—アルゼンチンを事例に
- 福喜多隆平 米国のエタノール外交
—バイオエタノールを使った米国のエネルギー戦略—
- 永樂 梨恵 ブラジル社会とマイノリティ
—同性愛者をみる眼差しの変化—
- 松澤 弘太 ブラジル、インド、南アフリカの南南協力と民間部門の
関係
- 山崎 聡士 キューバ国際関係
—米国キューバ関係と反米ラテンアメリカ諸国の結束—